

建築改修工事特記仕様書【令和8年4月版】	
I 工事概要	
1 工事番号・名称	号 工事
2 工事場所	
3 用途地域等	都市計画区域(内・外) 用途地域( ) 防火地域等(防火 準防火 指定なし 22条) その他の地域・地区( )
4 主要用途	
5 敷地面積	m
6 工事の概要	
7 別途工事	
8 その他	
9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ・ 解体工事特記仕様書 ・ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書	
II 建築工事仕様	
1. 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。	
2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と◎印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の< >、( )及び[ ]内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図面又は当該表を示す。	
章 項目	特記事項
1 一般事項	○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 ※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月(東京都建設局編集)による ※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること 調査範囲 ※ 図示
2 適用基準等	○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ○ 宮城県建設工事申請・下請関係適正化要綱 ○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版) ○ 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版)及び工事写真撮影ガイドブック(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版)
3 概成工期	工事工期より 日前 <1.2.1>
4 工事実績情報システム(リンク)の登録	※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) <1.1.4> 受注時、登録内容の変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後、配置技術者の変更後、変更契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
5 発生材の処理等	発生材の処理 <1.3.12> ・ 引渡しを要するもの( ) ・ 特別管理産業廃棄物( ) ・ 受入れ施設名・所在地(km) ・ 現場において再利用を図るもの( ) ・ 再生資源化を図るもの 種 類 受 入 施 設 名 所 在 地 (Km) 備 考 ・ コンクリート塊 ・ アスファルト ・ コンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ コンクリートから成る建設資材 ・ その他の廃棄物(安定型) 種 類 受 入 施 設 名 所 在 地 (Km) 備 考

・その他の廃棄物(管理型)	
種 類	受入施設名 所在地 (Km) 備 考
上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること	
PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器	・ 有(数量は図示) [5.4.1] ・ 無
PCB含有シーリング材	・ 有(施工範囲は図示) [5.4.1] ・ 無
PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。	
アスベストの処理 吹き付けアスベスト除去工事 ・ 有(図示) ・ 無 受け入れ施設名・所在地(km) アスベスト含有保温材除去工事 ・ 有(図示) ・ 無 受け入れ施設名・所在地(km) アスベスト成形板除去工事 ・ 有(図示) ・ 無 受け入れ施設名・所在地(km)	
ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理 ヒ素又はカドミウムボード ・ 有(図示) ・ 無 次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。 <対象となる石膏ボード> 小名浜吉野石膏(株) いわき工場 昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード(株) 八戸工場 平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの 指定する処分場 【名称: 所在地(km)】	
・ 適用する ※ 適用しない <1.3.3>	
<1.3.10> 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。(「宮城県HP「事故発生報告」参照)	
材料の品質等 <1.4.2> ※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。	
環境への配慮 <1.4.1> ※ 使用する材料は、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮し、かつ石綿を含有しないものとする。	
※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の建築材料 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用	
※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.10)<1.7.10> 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の測定マニュアル(統合版)」の最大濃度推定法による。	
測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド(濃度指針値 100µg/m <sup>3</sup> ・ 0.08ppm) ※ スレン(濃度指針値 220µg/m <sup>3</sup> ・ 0.05ppm) ※ トルエン(濃度指針値 260µg/m <sup>3</sup> ・ 0.07ppm) ※ エチルベンゼン(濃度指針値 370µg/m <sup>3</sup> ・ 0.085ppm) ※ キロリン(濃度指針値 200µg/m <sup>3</sup> ・ 0.05ppm)	
測定する室等: ( )	
測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を1部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数) c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器	
測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡しは受けない。 ※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。	
総揮発性有機化合物の測定は「11章 総揮発性有機化合物(TVOC)測定」参照	
「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。	

① 建築基準法による風圧力等の指定	<3.5.4><3.9.3><5.11~13.2><5.14.5>(13.2.3)(13.3.3) 通 用 工 事 建 築 基 準 法 の 指 定 ・ 合成高分子系ルーフィングシート 風速(V0) ※30 ・ アルミニウム笠木 ・ 金属板屋根葺 地表面粗度区分 ・ II ・ III ・ 折板屋根葺 ・ ガラスブロック 多雪地域の指定 ・ 有 ・ 無 ・ 重量シャッター ・ 軽量シャッター ・ オーバーヘッドドア ・ 屋上緑化
12. 設計GL	※ 図 示 ・ 現状平均地盤高
③ 施工調査	施工数量調査 <1.6.2> 調査項目 調査範囲 調査方法 成果品 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 <1.6.3> ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 <1.7.2> ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。
④ 技能士	工 事 種 目 技能検定職種(技能検定作業) 以下の該当工事 ・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て 仮設工事 ・ とび(とび作業) 防水改修工事 ・ 防水施工 ・ アスファルト防水工作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・ 合成ゴムシート防水工作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工作業 ・ シーリング防水工作業 ・ 改質アスファルト防水工作業 ・ FRP防水工作業 外壁改修工事 ・ 左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) ・ 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工作業) ・ 塗装(建築塗装作業) 建具改修工事 ・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業) 内装改修工事 ・ 内装仕上施工 ・ プラスチック系床仕上げ工作業 ・ 木質系床仕上げ工作業 ・ ボード仕上げ工作業 ・ 鋼製下地工作業 ・ 表装(壁装作業) ・ 建築大工(大工工作業) 塗装改修工事 ・ 塗装(建築塗装作業) 耐震改修工事 ・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 型枠施工(型枠工作業) ・ とび(とび作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工作業) コンクリートブロック・瓦ひねり・押出成形セメント瓦工事 ・ ALCパネル施工(ALCパネル工作業) 石工事 ・ 石材施工(石張り作業) 排水工事 ・ 配管(建築配管作業) 舗装工事 ・ 路面標示施工 ・ 溶融ペイント(トマカ工作業) ・ 加熱ペイント(シマカ工作業) 植栽工事 ・ 造園(造園工作業) 屋根及びびとい工事 ・ 建築板金(内外装板金作業)
⑤ 完成図等	営繕工事完成引渡要領(令和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)により作成する。 ※ 白焼縮小(A3版) 2つ折製本 2部 ※ 完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ及びPDFデータ DVD-R等 2部
⑥ 完成写真	※ 作成する ・ 作成しない 営繕工事写真撮影要領により、完成図面に添付する完成写真とは別に次のものを原本(電子媒体)とともに監督職員に提出する。 なお、原本は、DVD-R等で提出すること。 分 類 サイズ 撮影箇所数 部 数 提出様式 ※カラー ※L ※営繕工事写真 ※工事用アルバムA4版 ・ 白黒 ・ 2L 撮影要領の ※1部 ポケット式程度 ・ 完成写真程度 ・ 部 ・ フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)
⑦ 設備工事との取合い	アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。 施工範囲 各工事の区分表による。 施 工 図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
⑧ 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで
① 仮囲い	※ 設ける ・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・ キャスターゲート(H=、W=) × 箇所 ・ シートゲート(H=、W=) × 箇所
2 仮設工事	・ 配置する(日 × 人 = 人日) ※ 配置しない ・ トラッククレーン(t吊り) × 日 ・ (t吊り) × 日

④ 工事表示板	※ 設置する ・ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領(令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定)による。
5. 足場等	外部足場 ・ 設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲) <2.2.1> <表2.2.1> 防護シート ・ 設置しない ・ 設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲)
⑥ 養生	内部足場 ・ 設置しない ・ 設置する ( ※ 脚立、足場板等) ・ 設置しない ・ 設置する ( ) ・ 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種) C種: 利用可能なエレベーター ( ) D種: 利用可能な階段 ( ) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省令和5年12月改定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
⑦ 仮設間仕切り	家具及び設備の移動 ・ 行う(図示) ・ 行わない <2.3.1> 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う ・ 行わない
⑧ 監督職員事務所	養生の方法 保管場所 ・ 設ける(図示) ・ A種 ・ B種 ※ C種 <2.3.2><表2.3.1>
⑨ 工事用水	※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) <2.4.1> ・ 設ける(規模 m程度 請負者事務所と同様 ・ 可 ・ 否)
⑩ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※ 利用できない ※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く
⑪ 工事用通路	※ 指定しない ・ 指定する(図示)
3 防水改修工事	1. 降雨等に対する養生(とい共) ※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(9)による <3.1.3> 2. 既存防水の処理 <3.2.3~4><3.2.6> 既存保護層の撤去 ・ 行う(範囲・図示による) ( ) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲・図示による) ( ) ・ 行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・ 行う(・M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X) ( ) ・ 行わない
3. 既存下地の処理	補修箇所の形状、長さ、数量等 <3.2.6> ※ 図示による
4. アスファルト防水	POS工法及びPOSI工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 監督職員と協議する ・ 図示による 新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種類 <3.1.4><3.3.2~5><表3.1.1><表3.3.3~10> 改修工法 新設種別 施工箇所 絶縁用シート 断熱材 ・ P2A ・ A-1 ※キレシフトフィルム ・ A-2 厚さ0.15mm以上 ・ A-3 又はフットヤークロス 70g/m <sup>2</sup> 程度 ・ PIB ・ B-1 ・ B-2 ・ P2A1 ・ AI-1 ※フットヤークロス ・ AI-2 70g/m <sup>2</sup> 程度 ※JISA9521に基づく押出法 ・ AI-3 ※スリットフォーム断熱材3種bA (スリット層付き) 厚さ ・ PIB1 ・ BI-1 ・ BI-2 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3~表3.3.6による ・ JISA 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.4による ・ JISA 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 立上り部の保護方法 ・ 乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による) 窯業系パネルI類(厚さ (mm) 幅 (mm)) ・ れんが押え(※JIS R 1250 (mm)) ・ コンクリート押え ・ モルタル押え(屋内)

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 ( ) FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課	設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称		
				図面名称	Scale	
					特記仕様書(1)	

3 防水改修工事	<p>新設防水層（屋根露出防水工）の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td></td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3D ・POD</td> <td>・D-1 ・D-2</td> <td></td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・DI-1 ・DI-2</td> <td></td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td>※3.3.2(9)種類 厚さ</td> <td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.7～表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上</p> <p>絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示による</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P1E</td> <td>・E-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・設ける (※図示による) ・設けない</p> <p>E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴室等常時水に接する部位</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>・屋上排水溝 ※図示による</p>	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考	種類	使用量	・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様	※製造所の仕様			・M3D ・POD	・D-1 ・D-2		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・DI-1 ・DI-2		・製造所の仕様	※製造所の仕様	※3.3.2(9)種類 厚さ	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	改修工法	種別	施工箇所	・P1E	・E-1		・P2E	・E-2		<p>6. 合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>新設防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POS ・S4S</td> <td>・S-F1 ・S-M1</td> <td></td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・S-M2</td> <td></td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S3S</td> <td>・S-F1 ・S-F2</td> <td>・プレキャストコンクリート下地 ・プレキャストコンクリート下地</td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M4S</td> <td>・S-M1 ・S-M2</td> <td></td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td> <td>・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2</td> <td>・プレキャストコンクリート下地 ・プレキャストコンクリート下地</td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td>3.5.2(3)(a)(b)種類 厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無</td> </tr> </tbody> </table> <p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 SI-M1及びSI-M2における防湿フィルム ・設置する ・設置しない</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P1S</td> <td>・S-C1</td> <td></td> <td>平場の保護モルタル塗布 立上り部の保護モルタル塗布 ※7mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>平場の保護モルタル床塗りに関する目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 目地の種類 ※押し目地</p> <p>合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ・JIS A 6008Iに基づく種類及び厚さ 種類 厚さ ( )mm以上</p> <p>絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート</p> <p>固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの</p> <p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様</p> <p>設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ( )個</p> <p>接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う (・図示による) プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合) ・行う (・図示による) ・行わない</p>	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考	種類	使用量	・POS ・S4S	・S-F1 ・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無		・S-M2		・製造所の仕様	※製造所の仕様			・S3S	・S-F1 ・S-F2	・プレキャストコンクリート下地 ・プレキャストコンクリート下地	・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無	・M4S	・S-M1 ・S-M2		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2	・プレキャストコンクリート下地 ・プレキャストコンクリート下地	・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.5.2(3)(a)(b)種類 厚さ(mm) ・25 ・50	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無	種別	種別	施工箇所	保護層	・P1S	・S-C1		平場の保護モルタル塗布 立上り部の保護モルタル塗布 ※7mm以下	<p>8. シーリング</p> <p>シーリング改修工法の種類 &lt;3.1.4&gt;&lt;3.7.2、3、7、8&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーリング充填工法</li> <li>・シーリング再充填工法</li> <li>・幅幅シーリング再充填工法</li> <li>・ブリッジ工法</li> <li>・ボンドプレーカー張り</li> <li>・エッジング材張り</li> </ul> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・図示による シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書表3.7.3(1)による ・図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p> <p>といその他の材種 &lt;3.8.2、3&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配管用鋼管</li> <li>・硬質ポリ塩化ビニル管</li> <li>・ルーフトレンドレン</li> <li>・表面処理鋼板</li> </ul> <p>とい受金物 材種 ※改修標準仕様書表3.8.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)</p> <p>形状 ※市販品 (とい径100以下) ※25×4.5以上 (とい径100を超えるもの)</p> <p>取付け間隔 ※改修標準仕様書表3.8.2による</p> <p>足金物 材種 ※改修標準仕様書表3.8.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)</p> <p>形状 ※市販品</p> <p>取付け間隔 ※改修標準仕様書表3.8.2による</p> <p>多雪地域 ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・図示による</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.4による</p> <p>ルーフトレンドレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ろく屋根用たて形I型</td> <td>※ねじ込み式・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形I型</td> <td>※ねじ込み式・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>※ねじ込み式・50・80・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・差し込み式・50・75・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>※ねじ込み式・50・80・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・差し込み式・50・75・100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>たてとい受金物の取付け ※図示による</p> <p>ルーフトレンドレンの取付け ※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する</p>	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)			種別	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形I型	※ねじ込み式・80・100・125・150		・ろく屋根用横形I型	※ねじ込み式・80・100・125・150		・バルコニー中継用	※ねじ込み式・50・80・100			・差し込み式・50・75・100		・バルコニー用	※ねじ込み式・50・80・100			・差し込み式・50・75・100		<p>9. とい</p> <p>10. アルミニウム製笠木</p> <p>種類 &lt;3.9.2、3&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・押出形材形 (・押出250形 ・押出300形 ・押出350形)</li> <li>・板材折曲げ形 (・オープン形式 ・シール形式)</li> </ul> <p>本体幅 ( )mm 板厚 (※2.0mm )mm</p> <p>表面処理 種別 ( )種 色合等 ・標準色 ( ) ・特注色 ( )</p> <p>既存笠木等の撤去 ・行う (範囲 ・図示による ) ・行わない</p> <p>下地補修の工法 ※図示による</p> <p>板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示による</p> <p>11. 防水保証</p> <p>アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名のうえ、保証書を作成する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。</p>	<p>4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁</p> <p>1. ひび割れ部改修工法</p> <p>・樹脂注入工法 &lt;4.1.4&gt;&lt;4.2.4~7&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> <th>延べ長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>・130</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>・40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>・70</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>・150~250</td> <td>・130</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注入状況の確認方法 ※コアの抜き取りを行う 抜き取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示による</p> <p>・Uカットシール材充填工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>延べ長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>0.2以上~0.3 未満 0.3以上~0.5 未満 0.5以上~1.0 未満 1.0 超過</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・シーリング材</td> <td>1.0超過~1.5 未満 1.5以上~2.0 未満 以上~未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系</p> <p>シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>延べ長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>0.2未満</td> <td>図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>・充填工法 &lt;4.1.4&gt;&lt;4.2.4、8&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>平均深さ (mm)</th> <th>平均広さ (㎡)</th> <th>延べ箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ポリマーセメントモルタル</td> <td>5~10未満 10~15未満 15~20未満 20~25未満 25~30未満 30~35未満 35~40未満</td> <td></td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130	図示による	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70			0.5以上~1.0未満	・150~250	・130		工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)	・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上~0.3 未満 0.3以上~0.5 未満 0.5以上~1.0 未満 1.0 超過	図示による	・シーリング材	1.0超過~1.5 未満 1.5以上~2.0 未満 以上~未満		工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)	・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による	材料	平均深さ (mm)	平均広さ (㎡)	延べ箇所数	・ポリマーセメントモルタル	5~10未満 10~15未満 15~20未満 20~25未満 25~30未満 30~35未満 35~40未満		図示による	・エポキシ樹脂モルタル				<p>4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>1. ひび割れ部改修工法</p> <p>・樹脂注入工法 &lt;4.1.4&gt;&lt;4.3.5、6、7、8&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> <th>延べ長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0 未満</td> <td>※200~300</td> <td>・130</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3 未満</td> <td>・50~100</td> <td>・40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5 未満</td> <td>・100~200</td> <td>・70</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上~1.0 未満</td> <td>・150~250</td> <td>・130</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注入状況の確認方法 ※コアの抜き取りを行う 抜き取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示による</p> <p>・Uカットシール材充填工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>延べ長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>0.2以上~0.3 未満 0.3以上~0.5 未満 0.5以上~1.0 未満 1.0 超過</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・シーリング材</td> <td>1.0超過~1.5 未満 1.5以上~2.0 未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系</p> <p>シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>延べ長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>0.2未満</td> <td>図示による</td> </tr> </tbody> </table>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0 未満	※200~300	・130	図示による	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3 未満	・50~100	・40		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5 未満	・100~200	・70			0.5以上~1.0 未満	・150~250	・130		工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)	・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上~0.3 未満 0.3以上~0.5 未満 0.5以上~1.0 未満 1.0 超過	図示による	・シーリング材	1.0超過~1.5 未満 1.5以上~2.0 未満		工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)	・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による	<p>宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 ( 5 班 ) FAX 022-211-3190 宮城県土木部管轄課</p> <p>設計年月日</p> <p>調査者氏名</p> <p>設計者氏名</p> <p>工事名称</p> <p>図面名称</p> <p>Scale</p> <p>全業</p> <p>図面 No</p> <p>特記仕様書 (2)</p>
	改修工法				新設種別	施工箇所			仕上塗料		断熱材	備考																																																																																																																																																																																																											
種類		使用量																																																																																																																																																																																																																					
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様	※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																			
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																	
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・DI-1 ・DI-2		・製造所の仕様	※製造所の仕様	※3.3.2(9)種類 厚さ	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																	
改修工法	種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																					
・P1E	・E-1																																																																																																																																																																																																																						
・P2E	・E-2																																																																																																																																																																																																																						
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考																																																																																																																																																																																																																	
			種類	使用量																																																																																																																																																																																																																			
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																	
	・S-M2		・製造所の仕様	※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																			
・S3S	・S-F1 ・S-F2	・プレキャストコンクリート下地 ・プレキャストコンクリート下地	・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																	
・M4S	・S-M1 ・S-M2		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																	
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2	・プレキャストコンクリート下地 ・プレキャストコンクリート下地	・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.5.2(3)(a)(b)種類 厚さ(mm) ・25 ・50	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																	
種別	種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																																																																				
・P1S	・S-C1		平場の保護モルタル塗布 立上り部の保護モルタル塗布 ※7mm以下																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																																																																																																																						
種別	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																																																																					
・ろく屋根用たて形I型	※ねじ込み式・80・100・125・150																																																																																																																																																																																																																						
・ろく屋根用横形I型	※ねじ込み式・80・100・125・150																																																																																																																																																																																																																						
・バルコニー中継用	※ねじ込み式・50・80・100																																																																																																																																																																																																																						
	・差し込み式・50・75・100																																																																																																																																																																																																																						
・バルコニー用	※ねじ込み式・50・80・100																																																																																																																																																																																																																						
	・差し込み式・50・75・100																																																																																																																																																																																																																						
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)																																																																																																																																																																																																																			
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130	図示による																																																																																																																																																																																																																			
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40																																																																																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70																																																																																																																																																																																																																				
	0.5以上~1.0未満	・150~250	・130																																																																																																																																																																																																																				
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)																																																																																																																																																																																																																					
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上~0.3 未満 0.3以上~0.5 未満 0.5以上~1.0 未満 1.0 超過	図示による																																																																																																																																																																																																																					
・シーリング材	1.0超過~1.5 未満 1.5以上~2.0 未満 以上~未満																																																																																																																																																																																																																						
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)																																																																																																																																																																																																																					
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による																																																																																																																																																																																																																					
材料	平均深さ (mm)	平均広さ (㎡)	延べ箇所数																																																																																																																																																																																																																				
・ポリマーセメントモルタル	5~10未満 10~15未満 15~20未満 20~25未満 25~30未満 30~35未満 35~40未満		図示による																																																																																																																																																																																																																				
・エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																																																							
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)																																																																																																																																																																																																																			
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0 未満	※200~300	・130	図示による																																																																																																																																																																																																																			
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3 未満	・50~100	・40																																																																																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5 未満	・100~200	・70																																																																																																																																																																																																																				
	0.5以上~1.0 未満	・150~250	・130																																																																																																																																																																																																																				
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)																																																																																																																																																																																																																					
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上~0.3 未満 0.3以上~0.5 未満 0.5以上~1.0 未満 1.0 超過	図示による																																																																																																																																																																																																																					
・シーリング材	1.0超過~1.5 未満 1.5以上~2.0 未満																																																																																																																																																																																																																						
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)																																																																																																																																																																																																																					
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による																																																																																																																																																																																																																					
5. 改質アスファルトシート防水	<p>新設防水層（屋根露出防水）の種類 &lt;3.4.2、3&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・M4AS</td> <td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td> <td></td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3AS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1</td> <td></td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・POAS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td></td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1</td> <td>・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td></td> <td>・製造所の仕様</td> <td>※製造所の仕様</td> <td>3.4.2(3)種類 厚さ</td> <td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( )mm以上</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 (個)</p> <p>絶縁断熱工法の防湿シート ・設置する ・設置しない</p>	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様	※製造所の仕様			・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・AS1-T1 ・AS1-J1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.4.2(3)種類 厚さ	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無	<p>7. 塗膜防水</p> <p>新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種類 &lt;3.6.2、3&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POX</td> <td>※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H</td> <td></td> <td>・主材料の製造所の仕様</td> <td>※主材料の製造所の仕様</td> <td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・L4X</td> <td>・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H</td> <td></td> <td>・主材料の製造所の仕様</td> <td>※主材料の製造所の仕様</td> <td>脱気装置 ・有 ・無</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水工法X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 (個)</p> <p>新設防水層（ゴムアスファルト系塗膜防水）の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>新設種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工程数及び各工程の使用量</th> <th>保護層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P1Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様</td> <td>・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ ( mm )</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様</td> <td>・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ ( mm )</td> </tr> </tbody> </table>	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		備考	種類	使用量	・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無	改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層	・P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ ( mm )	・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ ( mm )																																																																																																																																													
改修工法	新設種別				施工箇所	仕上塗料			断熱材	備考																																																																																																																																																																																																													
		種類	使用量																																																																																																																																																																																																																				
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様	※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																			
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																	
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																	
・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・AS1-T1 ・AS1-J1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.4.2(3)種類 厚さ	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																	
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		備考																																																																																																																																																																																																																		
			種類	使用量																																																																																																																																																																																																																			
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																		
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																		
改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層																																																																																																																																																																																																																			
・P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ ( mm )																																																																																																																																																																																																																			
・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ ( mm )																																																																																																																																																																																																																			

4-2	外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	2. 欠損部改修工法	<p>・充填工法 &lt;4.1.4&gt;&lt;4.3.9,10&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>平均深さ(mm)</th> <th>平均広さ(m)</th> <th>延べ箇所数</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">・ポリマーセメントモルタル</td> <td>5~10未満</td> <td></td> <td rowspan="5">図示による</td> </tr> <tr> <td>10~15未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15~20未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20~25未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25~30未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・エポキシ樹脂モルタル</td> <td>30~35未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35~40未満</td> <td></td> </tr> </table> <p>・モルタル塗替え工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>平均深さ(mm)</th> <th>平均広さ(m)</th> <th>延べ箇所数</th> </tr> <tr> <td>・現場調査材料</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">図示による</td> </tr> <tr> <td>・既調査材料</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)</p> <p>・既調査材料 ( )</p> <p>既製目地材</p> <p>・使用する (形状 図示による )</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置</p> <p>※図示による</p>	材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数	・ポリマーセメントモルタル	5~10未満		図示による	10~15未満		15~20未満		20~25未満		25~30未満		・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満		35~40未満		材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数	・現場調査材料			図示による	・既調査材料			3. 欠損部改修工法	<p>注入状況の確認方法</p> <p>※コアの抜き取りを行う</p> <p>抜き取り個数</p> <p>※長さ500mごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法</p> <p>※図示による</p> <p>・タイル部分張替え工法 &lt;4.1.4&gt;&lt;4.4.5, 7, 8&gt;</p> <p>接着剤の種類</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系</p> <p>施工数量： 平均広さ ( ) m 延べ箇所数 ( ) 箇所</p> <p>・タイル張替え工法</p> <p>張替え用材料</p> <p>・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系</p> <p>・張付けモルタル (・現場調査材料 既調査モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置</p> <p>※改修標準仕様書表4.4.2による</p> <p>・図示による</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験</p> <p>・行う ・行わない</p> <p>施工数量： 平均広さ ( ) m 延べ箇所数 ( ) 箇所</p> <p>・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <p>・目荒し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)</p> <p>・タイル張りの工法</p> <p>・外装タイル</p> <p>・密着張り ・改良圧着張り</p> <p>・ユニットタイル</p> <p>・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <p>・目荒し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)</p> <p>・シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地</p> <p>※ポリウレタン系シーリング材</p> <p>・伸縮調整目地その他の目地</p> <p>※変成シリコーン系シーリング材</p> <p>シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>目地詰め ※行う ・行わない</p>	5. 目地改修工法	<p>・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <p>・目荒し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)</p> <p>・タイル張りの工法</p> <p>・外装タイル</p> <p>・密着張り ・改良圧着張り</p> <p>・ユニットタイル</p> <p>・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <p>・目荒し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)</p> <p>・シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地</p> <p>※ポリウレタン系シーリング材</p> <p>・伸縮調整目地その他の目地</p> <p>※変成シリコーン系シーリング材</p> <p>シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>目地詰め ※行う ・行わない</p>	4. マスチック塗材塗り	<p>改修標準仕様書4.6.2による</p> <p>&lt;4.1.5&gt;&lt;4.6.2&gt;&lt;表4.6.1&gt;</p>	5. 外壁用塗膜防水材塗り	<p>仕上げの形状</p> <p>&lt;4.1.5&gt;&lt;4.7.2,3&gt;&lt;表4.7.1&gt;</p> <p>工法</p> <p>・仕上塗料の耐候性</p> <p>・下地挙動緩衝材の適用</p> <p>・適用する</p> <p>・適用しない</p> <p>コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修) による。</p> <p>モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。</p> <p>吹付け工法の模様材の種類</p> <p>・ (・所要量 (kg/m<sup>2</sup>))</p> <p>外壁用仕上塗料の種類</p> <p>・ (・所要量 (kg/m<sup>2</sup>))</p> <p>既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (塗仕上げ外壁等改修) による。</p>																																																																																																																																																																															
		材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数																																																																																																																																																																																																																					
・ポリマーセメントモルタル	5~10未満		図示による																																																																																																																																																																																																																							
	10~15未満																																																																																																																																																																																																																									
	15~20未満																																																																																																																																																																																																																									
	20~25未満																																																																																																																																																																																																																									
	25~30未満																																																																																																																																																																																																																									
・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満																																																																																																																																																																																																																									
	35~40未満																																																																																																																																																																																																																									
材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数																																																																																																																																																																																																																							
・現場調査材料			図示による																																																																																																																																																																																																																							
・既調査材料																																																																																																																																																																																																																										
4-3	外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1. タイルの形状寸法等	<p>タイルの形状、寸法等 &lt;4.4.5, 8&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">形状/寸法 (mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p> <p>見本焼き</p> <p>・行う (施工箇所： ) ・行わない</p> <p>試験張り</p> <p>・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない</p>	施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑	I類	II類	III類																																		4. 浮き部改修工法	<p>&lt;4.1.4&gt;&lt;4.4.5, 9~15&gt;&lt;4.5.9~15&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アカービン本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">注入量 (mL/箇所)</th> <th rowspan="2">延べ広さ (m)</th> </tr> <tr> <th>一般部指定部</th> <th>一般部指定部</th> <th>一般部指定部</th> <th>一般部指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> <td rowspan="2">図示による</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度</p> <p>注入工法用材料</p> <p>・ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化量 (取縮) (%)</th> <th>引張接着性 (材齢28日) (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>吸水性 (72時間) (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以下</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55</p> <p>粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法用材料</p> <p>・現場調査材料</p> <p>(セメントは改修特記仕様書8章8-2 コンクリート工事による)</p> <p>・既調査材料 ( )</p> <p>既製目地材</p> <p>・使用する (形状 図示による )</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置</p> <p>※図示による</p>	工法の種類	アカービン本数 (本/m)		注入箇所数 (箇所/m)		注入量 (mL/箇所)	延べ広さ (m)	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	図示による	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50		・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25		・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25		・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50		・充填工法	—	—	—	—	—		・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—		広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (取縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> )	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm <sup>2</sup> )	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上	5. 目地改修工法	<p>新規仕上塗料の種類</p> <p>&lt;4.1.5&gt;&lt;4.5.2&gt;&lt;表4.5.1&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装塗材S</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状</td> <td>・ローラー塗り ・吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>・厚付け仕上塗料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・凸部処理</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2">・適用する</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材S ・外装厚塗材E</td> <td>・ひき起こし ・かき落とし ・吹放し</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2">・適用する</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし</td> <td>・こて塗り ・ローラー塗り</td> </tr> </table>	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料	・外装薄塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・可とう形外装塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー塗り ・吹付け		・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する		・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・ひき起こし ・かき落とし ・吹放し	・吹付け	・適用する		・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り	1. 改修工法	<p>&lt;5.1.3, 6&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・内部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・木製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合</p> <p>壁部分の開口の開け方</p> <p>※図示による</p> <p>新規建具周囲の補修工法及び範囲</p> <p>※図示による</p> <p>建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・再使用 (・ブラインドボックス )</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による	・樹脂製建具	・	・	・建具表による	・鋼製建具	・外部	・	・建具表による	・内部	・	・建具表による	・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による	・ステンレス製建具	・	・	・建具表による	・木製建具	・	・	・建具表による	2. 防火戸	<p>・指定する 適用箇所 (・建具表による ) &lt;5.1.4&gt;</p> <p>・指定しない</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動</p> <p>・連動させる 適用箇所 (・建具表による )</p> <p>・連動させない</p>	3. 見本の製作等	<p>建具見本の製作 ・行う (建具符号： ) &lt;5.1.5&gt;</p> <p>※行わない</p> <p>建具見本製作の目的等： ( )</p> <p>特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号： )</p> <p>※行わない</p>	4. 防犯建物部品	<p>・適用する (・建具表による ) &lt;5.1.7&gt;</p> <p>※適用しない</p>
施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分				うわぐすり	役物	色						耐凍害性	耐滑																																																																																																																																																																																																										
			I類	II類	III類																																																																																																																																																																																																																					
工法の種類	アカービン本数 (本/m)		注入箇所数 (箇所/m)		注入量 (mL/箇所)	延べ広さ (m)																																																																																																																																																																																																																				
	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部																																																																																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	図示による																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																					
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																					
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																					
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																					
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																					
・充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																					
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																					
広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (取縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> )	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																					
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上																																																																																																																																																																																																																					
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料																																																																																																																																																																																																																							
・外装薄塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																								
・可とう形外装塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																								
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																								
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																								
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー塗り ・吹付け																																																																																																																																																																																																																								
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																																																																								
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料																																																																																																																																																																																																																						
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する																																																																																																																																																																																																																							
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																																																																																																																								
・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・ひき起こし ・かき落とし ・吹放し	・吹付け	・適用する																																																																																																																																																																																																																							
	・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り																																																																																																																																																																																																																								
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																																																							
・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																							
・樹脂製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																							
・鋼製建具	・外部	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																							
	・内部	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																							
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																							
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																							
・木製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																																																																																																							

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号  
電話 022-211-326 ( 8 番 班 )  
FAX 022-211-3190  
宮城県土木部営繕課

設計年月日  
調査者氏名  
設計者氏名  
工事名称  
図面名称

全業  
図面 No  
Scale  
特記仕様書 (3)

5 5 建具 改修 工事	5. アルミニウム製建具	性能値等 耐風圧性の等級 ( ) (建具符号 : 建具表による ) 気密性の等級 ( ) (建具符号 : 建具表による ) 水密性の等級 ( ) (建具符号 : 建具表による ) 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号 : 建具表による ) ・B種 (建具符号 : 建具表による ) ・C種 (建具符号 : 建具表による ) 枠の見込み寸法 ( 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 : 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号 : 建具表による ) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 (改修標準仕様書表5.2.2) ※BB-1 ・BB-2 (着色 : 標準色 ・ 特注色) 屋内の建具 種別 (改修標準仕様書表5.2.2) ※BC-1 ・BC-2 (着色 : 標準色 ・ 特注色) 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・ 排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2~5><表5.2.2>	9. 鋼製軽量建具	標準型鋼製建具の形式及び寸法 ・ 建具表による	性能値等 <5.2.2><5.2.2~4> 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号 : 建具表による ) ・ 適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 : 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号 : 建具表による ) 材料 鋼板 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.5.11による ・ mm 使用箇所 ( ) ・ 防音性能を求める戸 (建具表による) 防音充填材 (グラスウール又はロックウール) 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ・ 建具表による	<5.2.2><5.2.2~4>	10. ステンレス製建具	材料 <5.2.2><5.4.2><5.6.2~5> ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ	<5.2.2><5.4.2><5.6.2~5>	11. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 <5.7.2~4> 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(f)による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・ 普通合板 表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 (・1類 ・2類 ) ・ 天然木化粧合板 樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類 ) ・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ※プリント ・ ポリエステル化粧合板 ・ メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類 ) ・ MDF 表裏面の状態による区分 ( ) 曲げ強さによる区分 ( ) 耐水性による区分 ( ) 難燃性による区分 ( ) 表面板の厚さ ※改修標準仕様書表5.7.6による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・ 適用しない ・ 適用する ・ かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による ・ ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・ 鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・ 建具表による ・ 戸ふすま 表面板の仕上 見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による	<5.7.2~4>	12. 建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.11により適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.21による ・ 建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.31による ・ 建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.41による ・ 建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.51による ・ 建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・ 建具表による	<5.8.1~3>	13. 鍵	マスターキー ・ 製作しない ・ 既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) 鍵箱 ・ なし ・ あり	<5.8.4>	14. 自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 ・ 建具表による ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 種類・開閉方式 ( ) 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 (サイクル) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( ) ・ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 (サイクル) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( ) ・ 引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 耐電圧 ( ) 防錆 ( ) 防滴 ( ) 電源 ( ) 引き戸用検出装置の種類 (改修標準仕様書表5.9.4) ・ 建具表による タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房操作スイッチの種類 ・ 大形押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・ 行う ※行わない	<5.9.2、3>	15. 自閉式上吊り引戸装置	性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1 ・ 以下による 手動開き力 ( ) 手動閉じ力 ( ) 閉じ速度の調整 ( ) 制動区間 ( ) 閉鎖返し ( ) 耐衝撃性 ( )	<5.10.3>	16. 重量シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) Pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・ 建具表による ) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による ) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・ 建具表による ) 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1	<5.11.2、3>	17. 軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・ 電動式 (手動併用) 耐風圧強度 ( ) Pa 安全装置 (電動シャッター) ・ 急降下停止装置 (設置場所 ・ 建具表による ) ※障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による ) スラットの材質の種類 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06 ) ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90 ) スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形	<5.12.2~4>	18. オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 耐風圧性能区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ※ステアタイプ ・ 50 ※パランス式 ※スチールド形 ※溶融亜鉛めっき ・ アルミタイプ ・ 75 ・ チェン式 ・ ロッド形 鋼板 ・ アイバーガラスタイプ ・ 100 ・ 電動式 ・ ハイリフト形 ・ スチール鋼板 ・ パーチカル形	<5.13.2、3>	19. ガラス	電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ※建具表による ) ・ フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 <3.7><5.14.2~4> ※建具表による ・ 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・ 網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※建具表による 落球衝撃は離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 ・ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ III類 ・ 熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・ 1種 ・ 2種 ・ 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・ 建具表による 断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6 ・ G ・ S 封入気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン ・ 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・ 建具表による 日射熱遮蔽性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・ A類 ・ B類 ・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による	<3.7><5.14.2~4>	ガラスの留め材及び溝の大きさ	建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・ シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・ グレージングチャンネル ・ 図示による 鋼製及び鋼製軽量 ・ シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・ 図示による ステンレス製 ・ シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・ 図示による 樹脂製 ・ グレージングガスケット ※建具製造所の仕様による ・ 図示による	<5.14.2~4>	ガラス端部の小口加工 対象箇所 ・ 建具表による ・ 図示による 仕上げの程度 ( )
		6. 網戸等	種類 材質 線径 網目 ・ 防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 ・ 防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1.5mm 網目寸法15mm		<5.2.3、5.3.3>	7. 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性の等級 ( ) 気密性の等級 ( ) 水密性の等級 ( ) 外部に面する建具の種類 ・ A種 (建具符号 : 建具表による ) ・ B種 (建具符号 : 建具表による ) ・ C種 (建具符号 : 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2 ) (建具符号 : 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) (建具符号 : 建具表による ) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ・ 建具表による 材料 ガラス ※複層ガラス (組合せは建具表による) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による		<5.2.2><5.3.2~5>	8. 鋼製建具		性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号 : 建具表による ) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ( ) (建具符号 : 建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 : 建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号 : 建具表による ) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.21による ・ mm 使用箇所 ( )	<5.2.2><5.4.2~4><表5.4.2>		設計年月日	調査者氏名		設計者氏名	工事名称		全業	図面 No																			
				宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 ( 5 班 ) FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課				図面名称	Scale		特記仕様書 (4)																														

5 建具改修工事	20. ガラス ブロック積み	<p>&lt;5.14.5&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ※図示による</p> <p>力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)</p> <p>寸法 ※径5.5mm</p> <p>形状 ※はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製</p> <p>寸法 ※図示による</p> <p>形状 ※図示による</p> <p>目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による</p> <p>・図示による</p>	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・160×160	・95					・200×200	・95					6 内装改修工事	<p>・JAS 1083-6に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>等級 (材面の品質)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下 ・A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下 ・A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理			※1等		※10%以下 ・A種 ・B種	・			※1等		※10%以下 ・A種 ・B種	・	施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率			( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種			( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	7. 造作用集成材	<p>&lt;6.5.2&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> </table> <p>・JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> </table> <p>・JAS 1152以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> <p>・JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法 (mm)	見付け材面の品質						※1等 ・2等						※1等 ・2等	施工箇所	品名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	寸法 (mm)	見付け材面の品質		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・2等		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・2等	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率					※15%以下					※15%以下	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率		化粧薄板: 芯材:				※15%以下		化粧薄板: 芯材:				※15%以下	8. 造作用単板積層材	<p>&lt;6.5.2&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・JAS 0701 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無 ( ) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>※14%以下</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無 ( ) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>※14%以下</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・JAS 0701 に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>強度等級 (曲げ性能)</th> <th>種別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理				・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する ・適用しない				・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する ・適用しない	施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理			・無 ( ) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下	・適用する ・適用しない			・無 ( ) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下	・適用する ・適用しない	施工箇所	品名	樹種名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	寸法 (mm)		・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板						9. 合板等	<p>&lt;6.5.2&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>単板の樹種名</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td>※1類 ・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td>※1類 ・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・JAS 0233に基づく普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>曲げ強度 (強度等級)</th> <th>防虫処理</th> <th>単板の樹種名</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>・特類 ※1類</td> <td>・1級 ※2級以上</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>・特類 ※1類</td> <td>・1級 ※2級以上</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS 0233に基づく構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>曲げ強度 (強度等級)</th> <th>防虫処理</th> <th>単板の樹種名</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>・特類 ※1類</td> <td>・1級 ※2級以上</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>・特類 ※1類</td> <td>・1級 ※2級以上</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。</p>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理		※5.5	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上		・適用する ・適用しない		※5.5	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上		・適用する ・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ強度 (強度等級)	防虫処理	単板の樹種名		※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上		・適用する ・適用しない			※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上		・適用する ・適用しない		施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ強度 (強度等級)	防虫処理	単板の樹種名		※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上		・適用する ・適用しない			※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上		・適用する ・適用しない		10. 接合具等	<p>造作材の化粧面の釘打ち &lt;6.5.3&gt;</p> <p>※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし釘打ち ・釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい ※改修標準仕様書表6.5.3に示す程度の市販品</p> <p>座金 ※改修標準仕様書表6.5.4に示す程度の市販品</p> <p>箱金物及び短冊金物 ※改修標準仕様書表6.5.5に示す程度の市販品</p>	11. 接着剤	<p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 &lt;6.5.3.4&gt;</p> <p>※F☆☆☆☆</p>	12. 防腐・防蟻・防虫処理等	<p>&lt;6.5.5&gt;</p> <p>・工場における薬剤の加圧注入等 ・改修標準仕様書6.5.5(1)(a)①による加圧注入</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> </table> <p>・改修標準仕様書6.5.5(1)(a)②による加圧式保存処理 保存処理の性能 ( ) インサイジング等 適用する 適用しない</p> <p>・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</p> <p>薬剤の種類 ※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)①による ・付属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存剤による</p> <p>適用部材 (部位) ・図示による 処理方法 ※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による</p> <p>・薬剤の接着材への混入による防腐・防蟻処理 適用部材 (部位) ・図示による</p> <p>・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入等によるK3防腐・防蟻処理 適用部材 (部位) ・図示による</p> <p>・不燃処理木材等</p> <p>不燃材料 適用部材 (部位) ・図示による</p> <p>準不燃材料 適用部材 (部位) ・図示による</p> <p>難燃材料 適用部材 (部位) ・図示による</p>	適用部材	保存処理性能区分	・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4		13. 内部間仕切軸組及び床組み	<p>&lt;6.5.6&gt;</p> <p>・間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松</p> <p>・床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松</p> <p>・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太 ※ひのきは保存処理木材</p>	14. 窓、出入口 その他	<p>&lt;6.5.7&gt;</p> <p>・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉</p>	15. 床板張り	<p>&lt;6.5.8&gt;</p> <p>・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ひのき</p>	16. 壁及び天井 下地	<p>&lt;6.5.9&gt;</p> <p>・壁間縁、野縁、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松</p>	17. 軽量鉄骨天井 下地	<p>&lt;6.6.2~4&gt;</p> <p>野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形</p> <p>屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びピンサートの間隔 ・図示による 周辺部の端からの間隔 ・図示による</p> <p>野縁の間隔 ・図示による 既存の埋込みピンサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・行う</p> <p>試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ( ) 箇所 引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の 単位面積あたりの重量が20kg/m<sup>2</sup>以内の天井の場合は400N程度 ・ ( ) N</p> <p>※行わない ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 ( ) (補強方法 ※図示による ) ・天井のふところが3.0mを超える場合 ( ) (補強方法 ※図示による ) ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 ( ) (補強箇所 ※図示による ) (補強方法 ※図示による ) ・屋外の天井における耐震性を考慮した補強 ( ) (補強箇所 ※図示による ) (補強方法 ※図示による )</p>	18. 軽量鉄骨壁 下地	<p>&lt;6.7.3、4&gt;表6.7.1)</p> <p>スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による</p> <p>出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4(5)による</p>	19. ビニル床 シート	<p>&lt;6.8.2.3&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS (複層ビニルシート)</td> <td>※無地 ・マーブル柄 ・柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法</p>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニルシート)	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0		20. ビニル床 タイル	<p>&lt;6.8.2&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※KT (コボジションビニルタイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>※300×300 ・450×450</td> <td>※2.0 ・2.5 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT (単層ビニルタイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FT (複層ビニルタイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・2.5 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA (置き敷きビニルタイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・500×500</td> <td>・4.0 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB (薄型置き敷きビニルタイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コボジションビニルタイル)	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	※2.0 ・2.5 ・3.0		・TT (単層ビニルタイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・		・FT (複層ビニルタイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0		・FOA (置き敷きビニルタイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0 ・		・FOB (薄型置き敷きビニルタイル)	・無地 ・柄物	・	・		21. 特殊機能床材	<p>&lt;6.8.2&gt;</p> <p>・帯電防止床シート 種類 ( ) 性能 ( ) 厚さ (mm) ( )</p> <p>・帯電防止床タイル 種類 ( ) 性能 ( ) 寸法 (mm) ( ) × ( ) 厚さ (mm) ( )</p> <p>・視覚障害者用床タイル ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類 ( ) 形状 ( )</p> <p>・耐動荷重性床シート 種類 ( ) 厚さ (mm) ( )</p> <p>・防汚性床シート 種類 ( ) 厚さ (mm) ( )</p> <p>・防汚性床タイル 種類 ( ) 寸法 (mm) ( ) × ( ) 厚さ (mm) ( )</p>	<p>宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 ( 8 番 班 ) FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課</p> <p>設計年月日</p> <p>調査者氏名</p> <p>設計者氏名</p> <p>工事名称</p> <p>図面名称</p> <p>全業</p> <p>図面 No</p> <p>Scale</p> <p>特記仕様書 (5)</p>
	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・160×160	・95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・200×200	・95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※1等		※10%以下 ・A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※1等		※10%以下 ・A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法 (mm)	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	寸法 (mm)	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	化粧薄板: 芯材:				※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	化粧薄板: 芯材:				※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		・無 ( ) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		・無 ( ) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	品名	樹種名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	※5.5	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上		・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	※5.5	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上		・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ強度 (強度等級)	防虫処理	単板の樹種名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上		・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上		・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ強度 (強度等級)	防虫処理	単板の樹種名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上		・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上		・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※FS (複層ビニルシート)	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※KT (コボジションビニルタイル)	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	※2.0 ・2.5 ・3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・TT (単層ビニルタイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・FT (複層ビニルタイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・FOA (置き敷きビニルタイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・FOB (薄型置き敷きビニルタイル)	・無地 ・柄物	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
6 内装改修工事	21. ガラス用 フィルム	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>その他性能等</th> </tr> <tr> <td>・日射調整フィルム</td> <td>・SG-1 ・SG-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・低放射フィルム</td> <td>・LE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・G1-1 ・G1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・GD-1 ・GD-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・SF</td> <td></td> </tr> </table> <p>品質は、JIS A 5759による。</p>	種類	記号	その他性能等	・日射調整フィルム	・SG-1 ・SG-2		・低放射フィルム	・LE		・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・G1-1 ・G1-2		・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-1		・ガラス貫通防止フィルム	・SF		7. 造作用集成材	<p>&lt;6.1.3&gt;</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による</p> <p>既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による</p>	8. 造作用単板積層材	<p>&lt;6.2.2&gt;</p> <p>ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ (接着剤とも) ・下地モルタルとも (・図示による 除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法</p> <p>既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書4章外壁改修工事による。</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ※図示による</p>	9. 合板等	<p>&lt;6.3.2&gt;</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による)</p>	10. 接合具等	<p>&lt;6.5.1&gt;</p> <p>見え掛り面の表面仕上げの程度 ※ブレンダー加工仕上げ 適用部材 (部位) ( ) ・超自動機械かん掛け仕上げ 適用部材 (部位) ( ) ・サンダー掛け仕上げ 適用部材 (部位) ( )</p>	11. 接着剤	<p>&lt;6.5.2&gt;</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.5.2(1)(f)による</p>	12. 防腐・防蟻・防虫処理等	<p>&lt;6.5.1&gt;&lt;6.5.6~9&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>等級 (材面の品質)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・JAS 1083-2に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>等級 (材面の品質)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※上小節</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理			※2級		※A種 ・B種	・			※2級		※A種 ・B種	・	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	見え掛り面		※上小節		※A種 ・B種	・	見え掛り面以外		※小節以上		※A種 ・B種	・	13. 内部間仕切軸組及び床組み	<p>&lt;6.1.3&gt;</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による</p> <p>既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による</p>	14. 窓、出入口 その他	<p>&lt;6.1.3&gt;</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による</p> <p>既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による</p>	15. 床板張り	<p>&lt;6.2.2&gt;</p> <p>ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ (接着剤とも) ・下地モルタルとも (・図示による 除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法</p> <p>既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書4章外壁改修工事による。</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ※図示による</p>	16. 壁及び天井 下地	<p>&lt;6.3.2&gt;</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による)</p>	17. 軽量鉄骨天井 下地	<p>&lt;6.5.1&gt;</p> <p>見え掛り面の表面仕上げの程度 ※ブレンダー加工仕上げ 適用部材 (部位) ( ) ・超自動機械かん掛け仕上げ 適用部材 (部位) ( ) ・サンダー掛け仕上げ 適用部材 (部位) ( )</p>	18. 軽量鉄骨壁 下地	<p>&lt;6.5.2&gt;</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.5.2(1)(f)による</p>	19. ビニル床 シート	<p>&lt;6.5.1&gt;&lt;6.5.6~9&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>等級 (材面の品質)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・JAS 1083-2に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>等級 (材面の品質)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※上小節</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理			※2級		※A種 ・B種	・			※2級		※A種 ・B種	・	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	見え掛り面		※上小節		※A種 ・B種	・	見え掛り面以外		※小節以上		※A種 ・B種	・	20. ビニル床 タイル	<p>&lt;6.5.2&gt;</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.5.2(1)(f)による</p>	21. 特殊機能床材	<p>&lt;6.5.1&gt;&lt;6.5.6~9&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>等級 (材面の品質)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・JAS 1083-2に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>等級 (材面の品質)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※上小節</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理			※2級		※A種 ・B種	・			※2級		※A種 ・B種	・	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	見え掛り面		※上小節		※A種 ・B種	・	見え掛り面以外		※小節以上		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																									
種類	記号	その他性能等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・日射調整フィルム	・SG-1 ・SG-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・低放射フィルム	・LE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・G1-1 ・G1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ガラス貫通防止フィルム	・SF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※2級		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※2級		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
見え掛り面		※上小節		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
見え掛り面以外		※小節以上		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※2級		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※2級		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
見え掛り面		※上小節		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
見え掛り面以外		※小節以上		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※2級		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※2級		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
見え掛り面		※上小節		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
見え掛り面以外		※小節以上		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		



7 塗装 改修工事	5. 塗装	<p>7.5.2~7.12.2</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">※1種・2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・クリヤラッカー塗り(GL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき面</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ビグメントニス塗り</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、珪砂面、せっこうフタ面、せっこうド面、その他ド面)の塗替えの場合のしき止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りとしき止めシーとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りとしき止めシーとする</p> <p>クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する(着色剤:・溶剤系着色剤・油性染料着色剤)</p> <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない</p>	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類	木部屋外	※B種	※A種	木部屋内	※B種	※B種	※1種・2種	鉄鋼面	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	※A種	・クリヤラッカー塗り(GL)	鉄鋼面	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種	屋内の木部	※B種	※A種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種	屋内の亜鉛めっき面	※A種	※A種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	コンクリート面等	※B種	※B種	屋内の木部	※B種	※A種	・ビグメントニス塗り	コンクリート面等	※B種	※B種	屋内の木部	※B種	※A種	・木材保護塗料塗り(WP)	鉄鋼面	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種	8-1 鉄筋工事	3. 鉄筋の継手	<p>鉄筋の継手の方法等 &lt;8.3.4&gt;&lt;8.4.2&gt;&lt;8.3.4&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接・機械式継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・溶接継手・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>継手位置 ・図示による</p> <p>柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ・図示による</p> <p>耐力壁の重ね継手の長さ ・図示による</p>	部位	継手方法	呼び径(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接・機械式継手		耐力壁の鉄筋	・溶接継手・重ね継手		その他の鉄筋	・重ね継手		8. 溶接継手	<p>適用箇所 &lt;8.4.3&gt;</p> <p>・図示による( )</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能</p> <p>・A級</p> <p>溶接継手の工法 ・図示による( )</p> <p>鉄筋相互のあき ・改修標準仕様書8.3.5(4)による ・評定等の評価内容による</p> <p>・図示による( )</p> <p>施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波探傷試験 試験対象 ※全数</p>	9. 無筋コンクリート	<p>コンクリートの種類 &lt;8.11.1&gt;</p> <p>※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup></p> <p>スランプ ※15cm又は18cm</p> <p>セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所 ・図示による( )</p>
	塗装の種類	塗装面			工程																																																																																												
塗替え			新規																																																																																														
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類	木部屋外	※B種	※A種																																																																																														
	木部屋内	※B種	※B種																																																																																														
※1種・2種	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																														
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	※A種																																																																																														
・クリヤラッカー塗り(GL)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																														
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																														
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																														
	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種																																																																																														
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																														
	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種																																																																																														
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																																														
	屋内の木部	※B種	※A種																																																																																														
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																														
	屋内の亜鉛めっき面	※A種	※A種																																																																																														
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																																														
	屋内の木部	※B種	※A種																																																																																														
・ビグメントニス塗り	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																																														
	屋内の木部	※B種	※A種																																																																																														
・木材保護塗料塗り(WP)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																														
	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種																																																																																														
部位	継手方法	呼び径(mm)																																																																																															
柱、梁の主筋	※ガス圧接・機械式継手																																																																																																
耐力壁の鉄筋	・溶接継手・重ね継手																																																																																																
その他の鉄筋	・重ね継手																																																																																																
8 耐震改修工事 共通事項	1. 適用範囲	<p>・改修標準仕様書 8章 耐震改修工事 ・改修標準仕様書において8章耐震改修工事以外の改修工事で8章を引用している部分</p> <p>工事内容 ・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨プレースの設置工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・連続縦補強工事 ・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事 ・土工事及び地業工事</p>	4. 鉄筋の定着	<p>鉄筋の定着長さ &lt;8.3.4&gt;</p> <p>機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・図示による( )</p> <p>種類 ・摩擦圧接結合 ・嵌合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定</p> <p>工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による</p> <p>最小かぶり厚さ ・図示による 軽量コンクリートを適用する場合 ・あり 適用箇所( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ( )mm 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ( )mm</p>	9. 割裂補強筋	<p>形状 &lt;8.21.6&gt;&lt;8.22.7&gt;</p> <p>・スパイラル筋</p> <p>種類の記号 ・SR235またはSWM-P</p> <p>呼び径、曲げ直径、ピッチ ・図示による</p>	10. 流動化コンクリート	<p>適用箇所 &lt;6.15.1&gt;</p> <p>・図示による( )</p> <p>空気量 ※4.5%</p>																																																																																									
	2. 既存部分の処理等	<p>&lt;8.21.2, 3&gt;&lt;8.22.2, 3&gt;&lt;8.23.2, 3&gt;&lt;8.24.4&gt;&lt;8.25.2&gt;&lt;8.28.2&gt;</p> <p>既存構造体の撤去 撤去範囲 ・図示による( ) はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・図示による( )</p> <p>既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 ・既存柱、梁面 ・打継ぎ面等の15~30%程度に、平均深さ 2~5mm(最大7mm)程度の凹凸を、全体にわたってつける。</p> <p>・既存壁 ・打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ 2~5mm(最大7mm)程度の凹凸を、全体にわたってつける。</p> <p>既存杭の撤去等 ・撤去範囲及び撤去方法 ・図示による( )</p>	5. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)	<p>&lt;8.3.5&gt;</p> <p>最小かぶり厚さ ・図示による 軽量コンクリートを適用する場合 ・あり 適用箇所( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ( )mm 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ( )mm</p>	1. コンクリートの種類	<p>コンクリートの類別 &lt;8.1.3&gt;</p> <p>※I類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>・普通コンクリート &lt;8.1.3&gt;&lt;8.1.4&gt;&lt;8.2.5&gt;&lt;8.9.2&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランプ(cm)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m<sup>3</sup>)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>・</td> <td>・2.3程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による</p> <p>・軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランプ(cm)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m<sup>3</sup>)</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※21</td> <td>・</td> <td>・1種</td> <td>・2種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による</p>	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	適用箇所	・24	・	・2.3程度		・	・	・		設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	種類	適用箇所	・	※21	・	・1種	・2種	・	・	・			2. コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度	<p>構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による</p> <p>・軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランプ(cm)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m<sup>3</sup>)</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※21</td> <td>・</td> <td>・1種</td> <td>・2種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による</p>	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	種類	適用箇所	・	※21	・	・1種	・2種	・	・	・			11. 高流動コンクリート	<p>適用箇所</p> <p>・図示による( )</p> <p>材料及び調合 スランプフロー ・図示による</p> <p>空気量 ※4.5%</p> <p>単位粗骨材かさ容積 ※0.500m<sup>3</sup>/m<sup>3</sup>以上</p>																																													
設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	適用箇所																																																																																														
・24	・	・2.3程度																																																																																															
・	・	・																																																																																															
設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	種類	適用箇所																																																																																													
・	※21	・	・1種	・2種																																																																																													
・	・	・																																																																																															
設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	種類	適用箇所																																																																																													
・	※21	・	・1種	・2種																																																																																													
・	・	・																																																																																															
1. 鉄筋	<p>鉄筋の種類等 &lt;8.2.1&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	※SD295			※SD345			・			・			6. 圧接完了後の試験	<p>&lt;8.3.8&gt;</p> <p>超音波探傷試験 ※行方(全圧接部)</p>	12. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地	<p>打継ぎの位置 &lt;6.6.4&gt;&lt;6.8.1&gt;&lt;9.7.3&gt;&lt;3.7.3&gt;</p> <p>・図示による( )</p> <p>目地寸法 ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・図示による( )</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・図示による( )</p>																																																																													
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																																															
※SD295																																																																																																	
※SD345																																																																																																	
・																																																																																																	
・																																																																																																	
2. 溶接金網	<p>鉄線の形状等 &lt;8.2.2&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	・溶接金網				・				・				7. 機械式継手	<p>&lt;8.4.2&gt;</p> <p>適用箇所 ※図示による( )</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能 ・A級</p> <p>種類 ・ねじ筋鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式</p> <p>・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手</p> <p>工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目及び合否判定 ※改修標準仕様書表8.4.1~表8.4.3による ・評定等の評価内容による</p> <p>不合格となった場合の措置 ※改修標準仕様書8.4.2(5)(7)(a)~(c) ・図示による( )</p> <p>・超音波測定試験 試験対象 ・抜き ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度にする。</p> <p>試験の箇所数 1ロットに対して( )箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 不合格となった場合の措置 ・図示による( )</p>	3. セメント	<p>&lt;8.2.5&gt;</p> <p>種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された)規定の他、水和熱が7日目で352 J/g以下、かつ28日目402 J/g以下のものとする) 適用箇所( ) ・高炉セメントB種 適用箇所( ) ・フライアッシュセメントB種 適用箇所( )</p>	13. 構造体コンクリートの仕上り	<p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ &lt;8.1.4&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ(柱・梁・壁)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>化粧打ちしコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>仕上塗料塗り</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り、胴縁下地</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ(床)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式)</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、二重床</td> </tr> </table>	種別	適用箇所	・A種		・B種		・C種		種別	適用箇所	・a種	化粧打ちしコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り	・b種	仕上塗料塗り	・c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り、胴縁下地	種別	適用箇所	・a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式)	・b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り	・c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床																																																		
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																																														
・溶接金網																																																																																																	
・																																																																																																	
・																																																																																																	
種別	適用箇所																																																																																																
・A種																																																																																																	
・B種																																																																																																	
・C種																																																																																																	
種別	適用箇所																																																																																																
・a種	化粧打ちしコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り																																																																																																
・b種	仕上塗料塗り																																																																																																
・c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り、胴縁下地																																																																																																
種別	適用箇所																																																																																																
・a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式)																																																																																																
・b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り																																																																																																
・c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床																																																																																																
1. 鉄筋	<p>鉄筋の種類等 &lt;8.2.1&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	※SD295			※SD345			・			・			8. マスコンクリート	<p>&lt;6.13.1&gt;&lt;6.13.2&gt;</p> <p>適用箇所 ・図示による( )</p> <p>セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント</p> <p>混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による</p>	14. 打増し厚さ(打放し仕上げ)	<p>・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) &lt;8.7.8&gt; ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm</p>																																																																													
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																																															
※SD295																																																																																																	
※SD345																																																																																																	
・																																																																																																	
・																																																																																																	
2. 溶接金網	<p>鉄線の形状等 &lt;8.2.2&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	・溶接金網				・				・				9. 暑中コンクリート	<p>&lt;8.10.2&gt;</p> <p>スランプ ※21cm</p> <p>構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.10.1による</p>	15. 型枠	<p>せき板の材料及び厚さ &lt;8.2.7&gt;</p> <p>・合板(※12mm ) ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ・図示による( )</p> <p>スリーブの材種・規格等 ・図示による( )</p>																																																																												
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																																														
・溶接金網																																																																																																	
・																																																																																																	
・																																																																																																	
1. 鉄筋	<p>鉄筋の種類等 &lt;8.2.1&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	※SD295			※SD345			・			・			10. 暑中コンクリート	<p>&lt;8.10.2&gt;</p> <p>スランプ ※21cm</p> <p>構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.10.1による</p>	16. 型枠の加工及び組立	<p>シアコネクタをセパレーターとして使用 使用箇所 ・図示による( )</p>																																																																													
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																																															
※SD295																																																																																																	
※SD345																																																																																																	
・																																																																																																	
・																																																																																																	
2. 溶接金網	<p>鉄線の形状等 &lt;8.2.2&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	・溶接金網				・				・				11. マスコンクリート	<p>&lt;6.13.1&gt;&lt;6.13.2&gt;</p> <p>適用箇所 ・図示による( )</p> <p>セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント</p> <p>混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(4)による</p> <p>スランプ ※15cm</p> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.13.1による</p>	17. コンクリートの打込み工法等	<p>&lt;8.21.8&gt;&lt;8.23.5~7&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>・現場打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td>・工法指定なし</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</td> <td>・工法指定なし</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・工法指定なし</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・</td> </tr> </table>	補強工法	打設工法	部位	・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による( )		・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての増設壁 ・図示による( )		・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による( )		・	・	・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による( )		・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による( )		・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による( )		・	・		・工法指定なし	・		・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・		・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・																																								
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																																														
・溶接金網																																																																																																	
・																																																																																																	
・																																																																																																	
補強工法	打設工法	部位																																																																																															
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による( )																																																																																															
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての増設壁 ・図示による( )																																																																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による( )																																																																																															
	・	・																																																																																															
・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による( )																																																																																															
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による( )																																																																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による( )																																																																																															
	・	・																																																																																															
	・工法指定なし	・																																																																																															
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・																																																																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・																																																																																															

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号  
電話 022-211-326 ( )  
FAX 022-211-3190  
宮城県土木部営繕課

設計年月日  
調査者氏名  
設計者氏名  
工事名称  
図面名称

全業  
図面 No  
Scale  
特記仕様書(7)

8-2 コンクリート工事	鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等 柱頭及び柱脚の隙間の寸法 ・ 図示による( ) 柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠 ・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む  既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ ・ 図示による( ) 補強後の仕上げ ・ 図示による( )	10. 製作精度 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建第1464号第二号イ(2)による  アンダーカットの寸法 ※H12建第1464号第二号イ(3)による  食い違い仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による	18. アンカーボルト等の設置等 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3) ・ 図示による( ) 構造用アンカーボルトの保持及び埋込み ※適切な鋼製アンカーフレーム等を設置して固定する方法 ・ 図示による( ) 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・ A種 ・ B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別 厚さ 種別 ※A種 ・ B種 ・ 図示による( )	8-6 連続繊維補強工事 1. 連続繊維シート 連続繊維の材料 ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 ・ 引張強度 (含浸硬化後) ・ ( ) N/mm <sup>2</sup> ヤング係数 (含浸硬化後) ・ ( ) N/mm <sup>2</sup> ・ 下地処理 ・ ひび割れ部改修範囲 ・ 図示による( ) 工法の種類 ・ ・ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・ 図示による( )  連続繊維補強材の強度試験 ・ 引張強度試験 ※JIS A 1191 (コンクリート補強用FRPシートの引張試験方法)による ・ 試験数量 ・ 図示による( ) ・ ・ 付着強度試験 ※JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による 試験数量 ・ 図示による( )
8-3 鉄骨工事	1. 鉄骨製作工場 鉄骨製作工場の加工能力 (8.1.5) ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ( ) グレード以上 ・ 監督職員の承諾する工場  2. 鉄骨製作工場における施工管理技術者 ・ 配置する ・ 配置しない (8.1.6)  3. 鋼材 種類等 (8.2.8、14) 種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格 ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる	11. 仮組 仮組を行う範囲 (8.13.10) ・ 図示による( )  12. 溶接作業を行う技能資格者 試験の要領 (8.15.3) ・ 図示による( )  13. 溶接接合 開先の形状 (8.15.4) (8.15.7) ・ 図示による( ) ・ 鋼製エンドタブを切断する部分 切断する箇所 ・ 図示による( ) 切断範囲 ・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切断面の仕上げ ・ 改修標準仕様書8.15.7(1)(h) (2)による スカラップの形状 ・ 図示による( )	19. 鉄骨ブレース設置後の仕上げ ・ 図示による( ) (8.22.9)  8-4 あと施工アンカー 1. 材料等 (8.2.4) ・ 金属系アンカー ・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による( ) ・ セン断耐力 ・ kN ・ 図示による( ) アンカー本体の径及び埋込み長さ ・ 図示による( ) セット方式 ※本体打込み式改良型 接合筋の種類、径、長さ ・ 図示による( ) ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による( )  ※接着系アンカー ・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による( ) ・ セン断耐力 ・ kN ・ 図示による( ) アンカーの種類 ※カプセル方式回転打撃式 接着剤の品質 ※有機系 ・ 無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ・ 図示による( ) アンカー筋の種類 アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ・ 図示による( ) ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による( )	2. 仕上げ 補強工事後の仕上げ (8.24.7) ・ 図示による( )
4. 高力ボルト	高力ボルトの種類 (8.2.9) (8.13.2) (8.14.2) ※トルンパ形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による( ) 摩擦面の処理方法 ・ 改修標準仕様書8.14.2(1)による。 ・ すべり試験の実施 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。  JIS形高力ボルトの締付け (本締め) ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 ・ 図示による( )	14. 入熱、パス間温度の溶接条件 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 (8.15.7) (8.15.10) ・ 図示による( ) 適用箇所 ・ 図示による( ) ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部  15. 溶接部の試験 平12建第1464号第二号に関する外観試験方法等 (8.15.12) ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・ JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ・ 工場現場溶接の場合 ※全数	2. 穿孔 埋込み配管等の探査方法 (8.12.4) ・ 鉄筋探知器(金属探知器)より探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする。 ・ はつり出しによる  3. 施工確認試験 試験方法 (8.12.7) ※引張試験機による引張試験 確認強度 ・ 図示による(耐震補強共通図)	8-7 耐震スリット新設工事 1. 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8.25.2) 方式 ・ 完全スリット ・ 部分スリット 幅及び深さ ・ 図示による( ) 設置箇所 ・ 図示による( )  2. 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査 (8.12.4) 既設撤去部の埋込み配管等の探査方法 ・ 鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする ・ はつりだしによる  3. 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.25.2) ・ 耐火材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による( ) ・ 遮音材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による( ) 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修
5. 普通ボルト	ボルト及びナットの材料 (8.13.2) (7.2.3) ・ 標準仕様書7.2.3による ・ JIS B 1180 (六角ボルト)及びJIS B 1181 (六角ナット)による ・ JIS B 1180 (六角ボルト) 附属書JA (規定)及びJIS B 1181 (六角ナット) 附属書JA (規定)による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による( ) 母屋又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm	16. 錆止め塗装 塗料の範囲 (7.4.3) (8.17.2、4) 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による( ) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)(7)～(7)による部分以外 ・ 図示による( ) 塗料の種類 ・ 下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※As種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類	4. あと施工アンカー穿孔工法 ※改修標準仕様書8.12.1(2)による。 (8.12.1) ・ 耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法を採用する。	8-8 土工事及び地業工事 1. 埋戻し及び盛土 (8.28.3) 材料及び工法 (8.28.3) ・ 材料( ) 工法( ) ※改修標準仕様書8.28.1による ・ A種 適用場所( ) ・ B種 適用場所( ) ・ C種 適用場所( ) 土質( ) 受渡場所( ) ・ D種 適用場所( ) (品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)  2. 杭地業 (8.2.15) (8.28.4) (4.3.8) 支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) ・ 図示による( ) 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ・ 図示による( ) ・ 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・ 図示による( ) ・ 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・ 図示による( ) ・ 杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・ 図示による( ) ・ 溶接部の確認 ・ 図示による( ) ・ 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による( ) ・ 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方法の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 建て込み時の杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ・ 図示による( )
6. 溶融垂れめつき高力ボルト	ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (8.13.2) (8.14.2) (8.20.5) ・ 図示による( ) 摩擦面の処理方法 ・ プラスト処理 (表面粗度50μm Rz以上) ・ りん酸塩処理 ・ すべり試験の実施 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認は、同一の作業条件のもとで作成した対比試験片により行うこと。	17. 耐火被覆 種類、材料、工法等 (8.18.2) (8.18.8) 種類 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ ・ ・ 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・ 耐火材巻付け ・ 高断熱ロックウール ・ ラス張りモルタル塗り ・ 耐火塗料	8-5 グラウト工事 1. 柱底均しモルタル及びグラウト材 (8.2.12) ・ 柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系(酸化カルシウム及びバカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調査に使用される砂の乾燥状態は、規定しない。	
7. アンカーボルト	構造用アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2) 種類 ・ ABR400 ・ ABR490 ・ 建方用アンカーボルト 種類 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・ 標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・ 図示による( ) 種類 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による( )		無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒 ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 膨張収縮 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0 N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢 28日 40.0 N/mm <sup>2</sup> 以上 塩化物量 0.30kg/m <sup>3</sup> 以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-2024「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調査形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	
8. 溶接材料	溶接材料 (8.2.10) ・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による			
9. スタッド	種類等 (8.2.11) 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22			

8-8	3. 砂利地業	材料 ※再生クラッシュラン 切込砂利又は切込砕石 <8.2.15><8.28.4>	・石綿含有けい酸カルシウム板第一種の切断、破砕等による除去 除去対象範囲 ・ 図示による ・ 隔離養生（負圧不要）方法 ・ 図示による 足場 ・ 図示による 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）	・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネル 材質 ・ 厚さ (mm) ・ 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法	10 ユニット及びその他の工事	1. フリーアクセスフロア (20.2.2)	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
		・ 置敷式 ・ 支柱調整式					・ 500×500		・ 1.0G ※0.6G	・ 3,000N ・ 5,000N	・ 帯電防止床タイプ ・ タイルカーペット		
4.	捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ <8.2.15><8.28.4>	・石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第一種の手ばらしによる除去を含む。） 除去対象範囲 ・ 図示による 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有せつこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） ・ 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）	4. 屋上緑化改修工事 <9.4.2~4>	2. 可動間仕切 (20.2.3)	寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(オ) (a)~(c)による ・ 以下による （ ） パネルの長さの寸法精度 （ ） パネルの平面形状（精度）の寸法精度 （ ） フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 （ ）	構造形式による種類	構成材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能		
		・ Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ Ⅱ類 (Ⅰ類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート)				・ Ⅰ種 ・ Ⅱ種	・ 浮き ・ 浮き	・ フォム樹脂焼付又は ・ フォム樹脂焼付 ・ 壁紙張り	・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ※36	※不燃			
9	1. 石綿含有建材の除去工事	施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。 調査範囲 ( ) 貸与資料 ( )	・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 除去対象範囲 ・ 図示による 除去工法 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）	5. 透水性アスファルト舗装改修工事 <9.5.2~5、9>	3. 移動間仕切 (20.2.4)	パネル内に取付ける建具 ・ あり (※図示による ) ・ なし	構造形式による種類	構成材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能		
		・ 測定 1 処理作業前 処理作業室内 ・計 点 ・ 測定 2 調査対象室外部の付近 ・計 点 ・ 測定 3 処理作業室内 ・計 点 ・ 測定 4 セキュリティゾーン入口 ・計 点 ・ 測定 5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速 1m/sec以下の位置 ・計 点 ・ 測定 6 処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界 ・計 点 ・ 測定 7 処理作業後 (シート養生中) 処理作業室内 ・計 点 ・ 測定 8 処理作業後 (シート撤去後) 処理作業室内 ・計 点 ・ 測定 9 調査対象室外部の付近 ・計 点				・ 盛土 ・ A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 ・ 図示による	・ フォム樹脂焼付又は ・ フォム樹脂焼付 ・ 壁紙張り	・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ※36	※不燃				
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・ JIS K 3850-1に基づいた測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		4. トイレブース (20.2.5)	パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	・ 凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・ 行う ※行わない ・ 路床安定処理 適用する ・適用しない 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ※普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・特号 ・1号) ・ 消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 kg/m <sup>3</sup> (目標CBR ・3以上 ) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・ 安定処理土のCBR試験 ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m <sup>2</sup> 以上 厚さ (mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水性係数 ・ 1.5×10 cm <sup>2</sup> /sec以上 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ※行わない 路床締固め度の試験 ※行う ・行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・行わない 路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 (改修標準仕様書表9.7.3による種別) ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ※図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ※行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの	・ 走行方向 操作方式による種類 ・ 平行方向 移動式 ・ 移動式 ・ 二方向 移動式 ・ パネル圧接装置の操作方法 ・ フック式 ・ ハンドル式 ・ 鋼板 ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り ・ 遮音性 (dB/500Hz) ・ 36未満 ※36以上 パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ・ 図示による パネルをランナに取り付ける部品 ※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ハンガーレール及びランナ ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの					
		ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ・ 図示による パネルをランナに取り付ける部品 ※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ハンガーレール及びランナ ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの				・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	・ 鋼板 ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 36未満 ※36以上	・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )				
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考	・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 表面仕上げ ・ クリアラッカー 直径 (mm) ・ 35程度 ・ 45程度 取付箇所 備考					
		測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 ・ 測定 4 25 5 30 ・ 測定 5 25 10 120 ・ 測定 47 10 240	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の撤去 ・ 行う ・行わない 下地面の清掃 ・ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 ・ 鋼材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ 有 ( mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示による		5. 手すり (20.2.6)	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ( ) 種) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 ( ) 種) 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )	手すりの握り部分 材料種 ・ 集成材 (材種: ) ・ ビニル製 						

10 ユニット及びその他の工事	6. 階段滑り止め	材種 ※ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 形状 ※タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等) ・タイヤレス型 寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法	(20. 2. 7)	16. ブラインドボックス及びカーテンボックス	材種 ・集成材(仕上げ: ) ※アルミニウム製 押出し型材(市販品) 標準仕様書表14. 2. 1による種別 ※BC-1種 BC-2種 色合い ・標準色( ) ・特注色( ) ・鋼製(仕上げ: )	17. 天井点検口	材種 ※アルミニウム製 寸法 ※450×450 ・600×600 形式 ※一般形 ・屋内外用 ・額縁タイプ ・額縁タイプ ・鋼製 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ 備考 ・継ぎ	18. 床点検口	材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 寸法 ※450×450 ※600×600 形式 ※一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用 備考 ・継ぎ	19. 耐震スリット	方向 ・垂直 ・水平 幅(mm) ・25 ・25 タイプ ・完全(全貫通型) 耐火性能 ・耐火型 ・非耐火型 防水性能 ・あり ・なし 備考	20. 止水材	形式 ・据置式(水膨張製ゴム、膨張遅延型、W20×t10) ・差込式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示による	21. くつふきマット	材種 ※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 受け枠 ※ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 備考	22. 流し台ユニット	材種 W D H ・流し台 ・1,200 ・1,500 ・1,800 ・550 ・600 ・650 ・800 ・850 市販品 トラップ付き 天板ステンレス製 ・コンロ台 ・600 ・550 ・600 ・650 ・620 ・670 市販品 バックガードあり 天板ステンレス製 ・つり戸棚 ・1,200 ・900 ・450 ・500 ・700 市販品 ・水切り ・1,200 ・900 ・600 市販品 ステンレス製 ※1段式	23. 旗竿	材種 ※アルミニウム合金製 形式 ※テーバー式 ・同一断面式 高さ(m) 操作方式 ※ハンドル式 ・ロープ式 固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	24. 旗竿受金物	材種 ※ステンレス製(SUS304)	25. 車止めさく	形式 ・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式 材種 ・ステンレス製 柱径、肉厚(mm) 高さ(mm)	26. フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示による	27. プレキャストコンクリート	コンクリートの設計基準強度 (20. 3. 3、4) ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m2を満足する調合強度 ・図示による 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する ・図示による 取付け方法 ※図示による	28. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み	(20. 4. 2、3) 材種 ・花こう岩 ・凝灰岩 種類 質量区分 備考 ・間知石 ・コンクリート 間知ブロック 積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示による 伸縮調整目地 材種 ・図示による 厚さ ・図示による	29. 鋼製書架及び物品棚	種類 規格等 JIS S 1039 の規格による JISによる種類 ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	30. 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り	31. 洗面カウンター	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600	32. 防煙垂れ壁	・固定式 材質 ※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス 厚さ(mm) ※6. 8 高さ(mm) ※500 備考 アルミ製枠付き ・可動式 種類 材質 ※不燃布 (不燃認定品) 高さ(mm) ※500 ・800 ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型) ・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 高さ(mm) ※500 ・800 表面仕上げ ※天井材張り	33. 屋外掲示板	降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型) 照明器具 ・あり ・なし 施錠 ・あり ・なし 製造所 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による	34. 収納家具	11 総揮発性有機化合物(TVOC)測定	1. 一般事項	試験採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の測定マニュアル(統合版)」の最大濃度測定法による。	2. 測定対象化学物質	測定対象化学物質は、下記4. 1)、2)の区分に従い、表の①から⑭の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。	3. 測定方法	1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。 2) トルエン換算で2.0μg/m3未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。	表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値	化学物質名	室内濃度指針値	①ホルムアルデヒド	100 μg/m3	0.08 ppm	②トルエン	260 μg/m3	0.07 ppm	③キシレン	200 μg/m3	0.05 ppm	④エチルベンゼン	370 μg/m3	0.085 ppm	⑤スチレン	220 μg/m3	0.05 ppm	⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m3	0.04 ppm	⑦トリクロロベンゼン	330 μg/m3	0.04 ppm	⑧アセトアルデヒド	48 μg/m3	0.03 ppm	⑨ノナール	(暫定)41 μg/m3	0.007 ppm	⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m3	0.0015 ppm	⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m3	0.0063 ppm	⑫クロロピリホス	1 μg/m3	0.00007 ppm	⑬ダイアジノン	0.29 μg/m3	0.00002 ppm	⑭フェノブカルブ	33 μg/m3	0.0038 ppm	⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 μg/m3	(暫定目標値)	4. 測定する室	1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・室名: 2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・室名: ・屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)	5. 測定結果等報告書の提出	次の事項を記載した報告書を2部提出する。 1) 測定結果(25℃換算値) 2) 試験採取時の状況(気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試験採取までの日数) 3) 試験採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し	6. その他	表の化学物質①から⑤のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。	宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 (班) FAX 022-211-3190	設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No
												図面名称	Scale		特記仕様書(10)																																																																																													